

■ 昭和のうたコンサート 北海道歌旅座 チケット発売中

誰もが口ずさんだあの歌。昭和ヒットパレードを、再びコスモホールでお楽しみください。
日時 5月5日(祝) 14:00開演 (13:30開場)
場所 コスモホール (情報文化センター)
曲目 学生時代、青い山脈、イヨマンテの夜、ラブ・イズ・オーヴァー、明日があるさほか
 ※演奏曲は、当日変更になる場合があります。
入場料 【全席自由】 2,000円 (当日は500円増し)
チケット販売場所 情報文化センター、文化会館、徳島新聞各販売店 (取次ぎ)
問い合わせ 情報文化センター (☎44-5000) へ

■ 阿南市市制施行60周年記念事業 避難訓練コンサート 「徳島県警察音楽隊 演奏会」

演奏会の途中で、お客さまとスタッフとで避難訓練を行います。徳島で初めての避難訓練コンサートです。
日時 4月21日(土) 14:00開演 (13:30開場)
場所 夢ホール (文化会館)
入場料 無料 ※入場整理券が必要
入場整理券配布開始日 4月6日(金)
配布場所 情報文化センター、文化会館、市民会館、各支所、各住民センター
問い合わせ 文化会館「避難訓練コンサート」係 (☎23-5599) へ

■ 「第57回 阿南市美術展」出品作品募集

第57回阿南市春季美術展の出品作品を募集します。
開催日 5月3日(祝)~5日(祝)
場所 文化会館 視聴覚室および研修室
出品資格 阿南市に在住または出身者および本市と関係の深い方で阿南市美術協会の会員 (初めて出品される方は、阿南市美術協会に入会していただきます) ※小・中学生は出品の受付ができません。
作品規格
日本画 6号~50号 (額装または表装)
洋画 6号~50号 (額装) 50号は縦額のみ
書道 縦横自由
写真 単写真、組写真とも半切及びA3~全倍サイズ 画面の長辺は40cm以上90cm以内 スクエアサイズ (正方形) は一辺が30cm以上50cm以内 組写真は1パネル (90cm×180cm以内) に全作品を縦に固定
彫塑・工芸・デザイン 横1.5m×縦1.5mまでで、展示にふさわしいように仕立てること。
 ※規格以外の作品は受付・展示しません。
 ※額装にはガラスを用いないこと。(工芸の押し花作品のみガラス可)
 ※アクリル板の使用は可 (日本画はアクリル板も不可)
出品点数 1人につき1部門あたり2点まで
会費・出品料 出品料は1点につき500円 美術協会年会費1,500円 (初めて出品される方および3年以上出品されていない方は、入会金1,000円が必要)
作品の受付・搬入 4月30日 (振休) 9:30~12:00 文化会館2階 研修室 ※この日以外は受付できません。
問い合わせ 文化振興課 (☎22-1798) へ



(写真: 椿自然園のツバキ)

■ 阿南市市制施行60周年記念事業 モンゴル歌舞団公演「母なる芸術の源流」

日本の追分や馬子唄に似たモンゴル民謡オルティンドー (長い歌)、馬頭琴、ホーミー (のど歌) など、世界民族芸能祭でグランプリを獲得した本物のモンゴル伝統音楽と舞踊をご堪能ください。



日時 4月14日(土) 18:00開演 (17:00開場)
場所 コスモホール (情報文化センター)
入場料 無料 ※入場整理券が必要 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
入場整理券配布開始日 3月28日(水)
配布場所 情報文化センター、文化会館、市民会館、各支所、各住民センター
問い合わせ 文化振興課 (☎22-1798) へ

平成29年阿南市文化財講座から 地質学からみた津波の記録と南海地震 (後編)

阿南市文化財保護審議会委員 小笠原 憲四郎

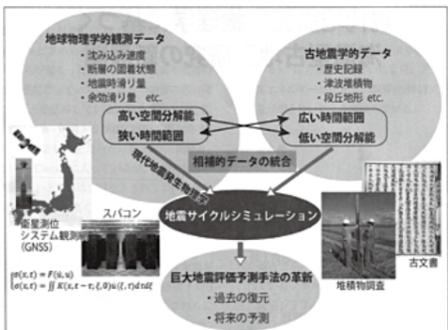
地震予知のアルゴリズム
 国の機関では、プレート運動の速度や断層の固着状態などのさまざまな地球物理学的観測と、歴史や地質学的記録からの古地震のデータなどを総合的に検討して巨大地震の評価予測を行っている。国は東海や南海地震の予知を前提に防災対策を進めてきたが、これを方向転換し、正確な予知は現時点ではできないとして、2013年5月には有識者会議で事前防災に重点をおいた報告書を公表した。大地震の前兆は探知されるかもしれないが、いつ地震が起こるのかの予知は現時点では困難であると認識しておくべきである。

まとめ
 500年間に1度起こったような巨大地震を想定すると、徳島県南地域でも津波の高さは10メートルを超え、阿南市の沿岸地域 (阿南市津波防災マップ参照) で最大8メートルを超え広域的に5メートル規模の津波が襲来するとされ

地質学からみた津波の記録と南海地震 (後編) 阿南市文化財保護審議会委員 小笠原 憲四郎

ている。最新の研究から想定されているM8級の南海地震の発生確率は今後30年以内が70~80%、今後50年以内では90%以上である。われわれは常に「津波襲来」を覚悟しておくべきである。

文献・特集・第21回GSJシンポジウム「古地震・古津波から想定する南海トラフの巨大地震」・地質調査総合センター (GSJ) 地質データベース、2013年VOL. 2、NO. 7、P193~221



第2図 新しい研究の特長と流れ。地質学的観測データと古地質学的データという相補的特徴を持つデータを地質サイクルシミュレーションという共通のプラットフォーム上で統合するのが最大の特長。



問い合わせ 科学センター (☎42-1600) へ
4月の休館日 2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)

発明クラブおよび体験会参加方法
 4月中旬ごろ市内各学校を通じて配布されるチラシをご覧の上、お申し込みください。

発明クラブ体験会を実施
 5月からの活動を前に、発明クラブがどんな活動をしているか知りたい人向けの体験会です。
日時 4月28日(土) 午前9時~11時30分
参加費 無料
定員 先着30人

阿南市少年少女発明クラブ 平成30年度クラブ員募集
 市内の小中学校に通う小学4年生以上を対象として、科学工作を中心に、原則毎月第3土曜日の午前中に、年間10回程度活動します。高専の先生などを迎える講座や、夏休み中には市内外の企業の工場見学なども予定しています。
定員 30人 (希望者多数の場合抽選)
年会費 2000円 (工作材料費)

平成30年度友の会会員募集
 科学センターでは、平成30年度科学センター友の会の会員を募集しています。
年会費 個人会員 2000円 家族会員 3000円
定員 40組
入会方法 科学センター備え付けの入会申込書に必要事項を記入し、会費を添えてお申し込みください。なお、活動は5月から始まります。

デジタルプラネタリウム (無料)
 土、日、祝日、春休み中の午後1時30分、3時~の2回実施。
 4月のテーマ「今夜の星空と北極星のお話」
 春から夏にかけて見つけやすくなる「北極星」について、見え方や特徴などのお話をしていきます。5月27日(日)まで。



ホームページ <http://www.ananscience.jp/science/>